

たよ町



<http://www.ise-mie.ed.jp/~kenkyusyo>

E-mail:kyo-kenkyu@city.ise.mie.jp

令和4年9月14日
伊勢市教育研究所
伊勢市小俣町元町540番地

令和4年度

夏季教職員研修講座の振り返り②

今年度の研修講座は、新型コロナウイルス感染症への対策をしながら、多くの講座を集合形式で開催しました。

【学級経営】

「社会の変化と学校のあるべき姿 ～学校改革のプロセス～」

講師:工藤 勇一さん(横浜創英中学・高等学校 理事/校長)

宿題をなくす、定期テストをやめるなど、思い切った実践で、公立中学校を改革されたお話を聴かせていただきました。これまでの学校の「常識」と思われていたことが、実はそうではなかったことに気づかされました。



♪ 参加者の感想より ♪

- *今後の学校経営に、いかしたいですが、自分自身の意識変革と教職員の意識変革が必要です。少しずつ、確実に進めていきます。今日は有り難うございました。
- *生徒指導の具体的な方法について、子どもたちの接し方を分かりやすく説明していただき、とても参考になりました。管理職として、今後の学校運営に生かしていきたいと思えます。
- *とても面白い内容でした。これまで学校の「常識」と思われてきたことが、実はそうではなかったことを納得させると同時に、少しでも実現できたらいいなと思えます。学校の日常で取り組まれている様々なことに対し、疑問に思っている部分があり、今日のお話で共感できることがたくさんありました。

保護者・市民
参加型

【特別支援教育講演会】

「得意なところは伸ばし、苦手なところは補いましょう！」 —得意と苦手の神経心理学的なアプローチから—

講師:志村 浩二さん(浜松学院大学短期大学部 子どもの未来創造センター長)

ロールプレイングを交えながら、具体的でわかりやすく、そして、楽しく学ぶことができました。小さい頃から、五感を使って直接体験をさせること、それを一緒に体験していくことの大切さについてのお話が印象に残りました。

♪ 参加者の感想より ♪

- *とても楽しく、具体例を交えながら神経心理学について学ぶことができました。クラスの子どもの顔がたくさん浮かんで、2学期から即時強化や指示をバラして与えること、実践していきたいと思えます。ありがとうございました。
- *具体的でわかりやすく、とてもためになる研修でした。2学期から試してみたいことばかりでした。学校全体で共有して、子ども理解や支援に活かしていきたいと思えます。

【授業づくり 国語】

「小学校国語の授業づくり」一答えを明確にするための発問と指導方法一

講師:白石 範孝さん(明星大学教育学部 教授)

参加者を、児童に見立てての示範授業と、講演会の2本立てで行いました。深い教材研究をすることで、子どもが持った問いに対し、いかに明確な答えに導くか、ということについて具体的に学ぶことができました。



詩の教材で示範授業をしていただき、講演会では、説明文や物語文の教材研究の仕方についてお話を聴かせていただきました。



♪ 参加者の感想より ♪

*国語の学習をどのように進めていけばいいのかわからなかったので、今日白石先生のお話を聞かせていただいて、子どもたちの？(わからない)を出して、そこから論理的に解決していけばいいんだと分かりました。そして、それと同時に教師の教材研究の大切さを痛感しました。これから、今日学んだことを自分なりに実践してみようと思います。

*今回、子ども役として模擬授業を受けることで、子どもの疑問や困り感を「問い」につなげるという流れが体感で分かりました。とても貴重な今回の体験を今後の授業に生かさなきゃいけないと思いました。また、教材研究が全く足りていないことにも気付かされました。夏休みの間に、学び直しておきます。



【授業づくり 算数】

「小学校算数の授業づくり」一つながりを意識して作る算数の授業一

講師:夏坂 哲志さん(筑波大学附属小学校 副校長)



5年生の子どもたちに、トピックスで『面積』の授業をしていただきました。45分間の中で、子どもを置き去りにしない指導を通して、みんなが意見を出し合っつながり、「もっと考えたい!」という気持ちになっていくのを感じることができました。授業後、子どもたちの満足そうな表情が、すてきでした。

♪ 参加者の感想より ♪

*子どもたちの意見を否定しないことで子どもたちに自信がつくこと、時に全員立たせてプレッシャーをかけることで授業に集中させること、子どもたちを(良い意味で)「あおる」声かけをすることで発表意欲を高めることなど、本当にたくさんを学びました。先生の指導技術や教材に対する視点が素晴らしく、自分が同じ教材を使って授業しても全く別物になってしまうのであろうと感じました。だからこそ、日々教材研究をすることや指導技術を高めることが大切…と改めて気が引き締まりました。

*子どもを置き去りにしない指導について、実際に見せていただくことで、より理解が深まりました。自らの実践を振り返ることもでき、大変有意義でした。

